

「緊急告知防災ラジオ」を 正しく設置しましょう

緊急告知防災ラジオ(以下、防災ラジオ)は、災害などの緊急時に自動で起動し、市民の皆さんに緊急情報をお知らせするためのものです。
正しく防災ラジオを設置していないと、自動で起動しない場合や故障の原因になることがあります。

設置のポイント

④設置の際は必ずACアダプタ(電源コード)をコンセントにつなぎ、電源を確保してください。



②本体後ろに差し込まれた黒色の絶縁板を引き抜いてください。(電池でも作動するようになりません。)

③FMわっぴーが受信できるかどうか確認してください。



ACアダプタについて

コードを引っ張ると付け根の部分が折れ曲がり、断線の原因となります。取り外す際などは、コードを引っ張らないよう注意してください。



雑音が入る場合

受信状態が悪い場合は受信レベルのランプが点滅します。

・窓側(できれば百年記念塔がある方向)に設置する

・本体のアンテナを伸ばす

・外部アンテナを接続して壁などに貼る
等で改善する場合があります。

緊急放送時

緊急放送を受信したときは、ラジオを聞いていなくても、最大音量で自動起動します。このとき、「緊急」の文字と「非常灯ランプ」が点灯します。

故障かな?と思ったら...

市役所3階にある総務防災課へラジオ本体とACアダプタをお持ちください。状態を確認し、不具合があれば交換します。

※防災ラジオは世帯主の方に無償で貸与しています。受け取っていない方は市役所3階総務防災課までお越しください。

「防災ラジオ」で災害関連情報を放送



9月6日に発生した大停電時、FMわっぴーでは、市内の状況を終日放送しました。

万が一に備え、防災ラジオの適切な設置をお願いします。

「防災ラジオ」各ランプの説明



①テスト

毎月第3金曜日の14時24分頃に実施している、緊急割込みの試験放送を正常に受信した場合に、24時間点灯します。(24時間経過後は自動的に消えます。)

②受信レベル

ラジオ(FMわっぴー)の受信状況が良好な場合に点灯します。受信状況がよくない場合はランプが点滅しますので、できるだけ点灯するよう設置場所やアンテナを調整してください。

③AC電源

ACアダプタを通じてコンセントから電気が流れている場合に点灯します。点灯していない場合は、ACアダプタが断線している可能性があります。

④電池交換

電池の容量が少なくなってくると、数秒に1度赤いランプが点滅するようになります。

いざという時のために 停電への備えを

停電への備えとして次のことに心がけてください。
特に、冬場は、北国に住む私たちにとって防寒対策は必須となります。

明かりの用意を

懐中電灯など、電池で使える明かりを用意し、いざという時すぐ手に取れるように決まった場所に置きましょう。ろうそくを使う場合は倒れないように固定してください。

防災ラジオのチェック

停電時の情報入手手段を用意しましょう。市で貸与している防災ラジオは、通常時はACアダプタをコンセントに挿して使用しますが、電池でも動きますので、電池をいれておきましょう。※電池交換のランプが点滅した場合は、電池を交換してください。また、古い電池をそのままにしておくと、液漏れの原因になります。

電話機のチェック

電気を使用する電話機は停電時に使えない可能性があります。ありますのでご注意ください。

い。携帯電話やスマートフォンは、長時間使用すると電源が切れます。電池式の充電器や充電用バッテリーを用意しましょう。

発電機使用時の注意

発電機を使う場合は、排気ガスにより一酸化中毒になるおそれがありますので室内ではなく、風通しのよい屋外に設置しましょう。

備蓄しておきましょう

災害時は一時的に流通が止まる可能性があります。万が一のために飲料水、食料、必要な生活物品を備蓄しておきましょう。

冬場の停電に備えて

ポータブルストーブやカセットガス式のストーブなど電気を使わない暖房器具や湯たんぽ(お湯が用意できる場合)、カセットコンロ、使い捨てカイロ、防寒着や毛布などを用意するほか、重ね着などをして体温を逃がさないよう工夫しましょう。

問い合わせ/市総務防災課
防災グループ
☎23・6380